

2年 技術・家庭（家庭分野） 週1時間

1 教科の目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- 衣生活の学習では、衣服の着方や働きや選び方、手入れの方法を学習すると共に、布を用いた物の製作を行い、衣生活の自立を目指します。
- 住生活の学習では、住空間について考え、住居の基本的な機能や、安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる能力を育てるようにします。
- 消費生活と環境の学習では、日常生活の中での消費と、それが環境に与える影響を考え、適切な物資やサービスの選択や購入ができることを目指します。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標(ねらい)
1	4	日常着の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらき ・自分らしく目的に合わせた着方 ・環境に配慮した衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらきを知る。 ・目的に合った衣服について考える。 ・目的に応じた着方や個性を生かす着用の工夫ができる。 ・資源や環境を考えた衣生活の工夫を考えることができる。 ・製作に必要な材料や用具、作製手順、目的に合った縫い方を理解している。
	6	環境に配慮した衣生活 布を用いた物の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の手順と必要な材料と用具 ・布を用いた物（クロスステッチ時計）の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に効率よく作業を進めることができる。 ・適切な縫い方や縫い代の始末ができるとともに生活を豊かにするための工夫ができる。
	7	住まいのはたらき 安全な住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいのさまざまな役割 ・共に住まう 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的なはたらきを理解し住まいに必要な空間とその役割が分かる。 ・家族によって住まい方が違うことが分かる ・家庭内の事故の種類と原因が分かる。
	9	快適な住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの安全対策 ・災害への備え ・室内の空気調節 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を考えた住まい方が分かり、非常時の備えとして必要なものが分かる。 ・室内の空気が汚れる原因を知り健康に配慮した住まい方の工夫を考えることができる。
	10 11		<ul style="list-style-type: none"> ・住まいと音（インテリアデザイン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活騒音の種類と問題点を理解し、防音対策の工夫を考えることができる。
2	12	家庭生活と消費 商品の購入と選択	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な物の流れ ・商品購入のプロセス ・消費生活の活用 ・商品の価格 ・販売方法と支払い方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活のしくみが分かる。 ・商品購入のプロセスが分かる。 ・商品の表示やマークの内容が分かる。 ・価格の決まり方が分かる。 ・販売方法と支払い方法、契約が分かる
	1	よりよい消費生活 のために	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活のトラブル防止 ・消費者の権利と責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活のトラブルと解決方法が分かる。 ・消費者の権利と責任を理解する。 ・消費生活のトラブルと解決方法が分かる。
	2	環境に配慮した 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者を支えるしくみ ・環境への影響を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活と環境との関わりを知る。 ・エネルギーの削減方法が分かる。
3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの消費 ・節水と生活排水 ・環境を考えた消費生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・水の節約や排水の浄化の方法が分かる。 ・環境に配慮した商品の選択ができる。
		簡単な調理	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な日常食を作ることができる。

3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解している。 ・衣・住生活に関わる知識をもっている。 ・宿題の資料の収集ができ、ワークノートやレポートにまとめることができる。 ・作品の製作において、計画に従って安全に留意し効率よく進めることができる。 ・作品を美しく作ることができる。 ・定期テストの技能の問題に答えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト(知識の問題) ・宿題の内容 ・作業の進度 ・作品の完成度 ・定期テスト(技能の問題)
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートに学習したことを生かして生活の工夫を記述することができる。 ・宿題に課題をもって取り組み ワークノートやレポートに自分の考えや生活の工夫を記入できる。 ・クロスステッチ時計の製作に関し、工夫して作ることができる。 ・作品製作を振り返り、今後の生活に生かそうとしている。 ・定期テストの思考・判断・表現の問題に答えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートの意見記述と宿題の内容 ・クロスステッチ図案と作品への工夫 ・ワークノート ・定期テスト(思考・判断・表現の問題)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートに学習した内容を記入している。 ・教科書、裁縫道具などの忘れ物が無い。 ・宿題などの提出物を期日に出している。 ・授業(実習)に意欲的に取り組んでいる。 ・定期テストの生活への関心の問題に答えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートの記入 ・忘れ物、宿題等提出物 ・授業への取り組み ・授業態度

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・教科書、裁縫道具、エプロン、宿題の提出など忘れ物をしない。
- ・授業に集中して、ワークノートの記入をするとともに、必要なことはメモを取る。
- ・作品の製作において、丁寧を作る。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・家庭生活において、衣服の手入れや料理作りなどの仕事に積極的に取り組み、基礎的な技能や知識を身に付ける。
- ・実習の前には、予習として家庭において練習してくるとよい。
- ・学習した事柄について長期休業中に実践課題レポートの宿題を出すので、必ず取り組み提出する。
- ・日頃から生活や環境について関心をもって新聞やテレビなどで情報を得るように心掛ける。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・テスト範囲のワークノートを活用し、重要な言葉や数字を書き出したり、蛍光ペンなどでマークしたりして覚える。
- ・授業中のアドバイスをきちんとメモして活用する。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

家庭分野では、将来できるだけ他の人の指示や世話を受けなくて自立できるようになるとともに、他の人たちと支え合って生活できるようになることを目指しています。そのために家庭生活においても、衣・食・住などの家庭での仕事の手伝いなどを積極的に行い、家族の一員としての役割を果たしていきましょう。また、支え合いの視点から、地域や社会、自然などの環境も考えながら生活することも大切です。視野を広くもち、本や新聞、テレビなどからさまざまな生活に関する情報を積極的に得るように心掛けていきましょう。